

◆ 3 年 6 組新里日彩 さんからの 羽ばたけ! 未来の国際人 留学レポート (In State of Texas)

向陽高校の皆さんお久しぶりです、アメリカ南部のテキサス州に留学中の新里日彩です。早めに始まった留学生活はすでに折り返し地点を通り過ぎて、毎日本当に充実した日々を過ごしています。

テキサス州は、沖縄とほぼ同じくらいの緯度にあり(めっちゃくちゃ大きな大陸なので誤差はかなり大きいですが)、私のいるリーグシティという街は湿気が多く、一年を通して暑く気候はものすごく沖縄と似ています。しかし、ハリケーンの時期以外雨があまり降らず暮らしやすい気候です。また、移民が多くて人種の偏りは見られずとても異文化に寛容な場所です。私を受け入れてくれているパウアーファミリーも数世代前にヨーロッパからアメリカに移り住んできた移民の家系です。パウアーファミリーは、ホストペアレンツ、ホストブラザー一人、ホストシスター二人の五人家族で、そのうち両親と、娘の一人がインターンでヒューストンにある NASA で働いています。家ではみんなで映画を観たり、イベント(クリスマスやハロウィン)を楽しんでいます。また猫を四匹も飼っており、日々の疲れをいやしてくれる存在です。

また、ホストファミリーは音楽一家でもあり、全員がマーチングバンド経験者です。日本ではあまり有名ではありませんが、アメリカではアメフトのゲームのハーフタイムに各学校のマーチングバンドがパフォーマンスをします。私も、キーボードプレイヤーとして、フィールドで演奏しました。アメリカのクラブ活動は日本とは違い、シーズン制となっていて、多くの生徒が夏と春で違う部活をしています。マーチングバンド、アメフトのシーズンは夏で、八月から十一月にかけて毎週金曜日の夜にマーチングバンドをしました。私にとって、マーチングバンドに参加したことはものすごくいい経験でした。私はバンドに参加するために、ほかの留学生よりもとても早く沖縄を離れました。テキサスに到着して次の日から練習開始でした。そこで、初めての友達を作り、彼らがアメリカの高校について教えてくれ、夏休み中毎日一緒に練習して学校が始まってからも毎日放課後に会って、フィールドに立って演奏して、。バンドに参加したおかげで、楽器を弾く楽しさを知れたし、初めてのことにたくさんチャレンジできて、とても楽しかったです。今でもバンドのクラスをとっていて、三月に私はマリimba(鍵盤楽器)のソロの発表会があるので今はそれに向けて練習中です。これまでのテキサス州で過ごした六か月を振り返って、一番皆さんに伝えたいことは、チャレンジすることの大切さです。やりたいことがあっても、なんだか怖くて躊躇してしまう時があると思いますが、案外やってみると、全然怖くないし、やる気さえあれば、周りが助けてくれます。私にとっては、留学という選択をとること自体がチャレンジだったのですが、家族、友達、学校の先生みんなが私を応援してくれて、それが前に進み続ける原動力になりました。正直に話すと、今の私は全然チャレンジできていません。環境に慣れてきて、ただ毎日をいつも通り過ごしているだけになってしまっています。このレポートで、チャレンジすることは大切だよといったからには、私が率先して動いて見せるのがお決まりだと思います。また次のレポートを書くときには、新しくチャレンジしたことをシェアすることを宣言します! 楽しみに待っていてくれると嬉しいです。それでは、以上、アメリカテキサス州からでした! またね~!

